

令和7年度長井市交通空白解消緊急対策事業調査検討業務委託仕様書

1 業務名

令和7年度長井市交通空白解消緊急対策事業調査検討業務委託

2 目的

本業務では、時間的観点から交通空白である市営バスについて、既存の輸送資源を有効活用し、利用者利便の向上を図ることで、地域内交通と経済の活性化を目指すため、現状分析を行い、改善策の検討を行うことを目的とする。

3 業務委託期間

委託契約締結の日から令和7年2月28日まで

4 業務の内容

(1) アンケート調査・データ分析

現行の長井市営バスについてのアンケートを実施すること。ただし、アンケートの配布範囲・回収目標等は市と協議すること。

また、現状の市営バスの運行についてデータ分析を行い、利用に関する傾向を整理すること。

(2) 路線の検討

長井市営バスの再編に向け、長井市の地域公共交通の課題解決に資する市営バスのルート案を作成する。ただし、作成するルート案は以下条件を満たすこと。

- ・ 現行の市営バス、スクールバスで対応している移動ニーズを満たすこと
- ・ 周辺の施設立地条件や道路の幅員等の安全面などが考慮されていること。

(3) ダイヤの検討・車両計画策定

既存の長井市営バス路線に使用している車両やスクールバスに使用し、日中は活用されていない車両など、運転手の担い手も再度整理し、ダイヤおよび、車両計画を策定する。両社のリソースを総合的に判断し、サービスレベルに合わせた運行方法を複数設定し、需要予測やシミュレーション、事業費試算に結び付けること。ただし、作成するダイヤ案は以下条件を満たすこと。

- ・ 行きたい方向に1時間1本程度以上のサービスレベルが確保されていること。
- ・ 休日の運行について検討すること。
- ・ 運転手のシフト計画を作成すること。

(4) 利用者予測シミュレーション

「(1) アンケート調査・データ分析」や、現行の長井市営バスの利用状況、将来の人

口推計等を踏まえ、再編後の長井市営バスの利用者数を試算する。具体的な試算の条件は、市と協議の上で決定すること。

(5) 事業費試算

運行経費は、既存路線の運行実績等から正確な数字を算出すること。収入については、国庫補助及び交付税等の運賃収入以外で確保できる方策を検討すること。

また、収支バランスが取れない場合には、クロスセクター効果等を整理すること。

(6) 報告書作成

(1) ～ (5) に関する内容について報告書を作成すること。

5 委託業務にあたっての留意点

- (1) 委託事業の開催から終了までの間、本事業を統括する責任者を1名配置し、事業実施方法や進捗状況の確認等、事業の安全かつ円滑な実施のために、定期的に市と連絡調整を行うこと。
- (2) 納入される成果物について、第三者が権利を有する著作物が含まれる場合には、該当既存著作物等の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に関わる一切の手続きを行うこと。
- (3) 受託者は、事業完了後5年間、本委託業務に係る会計帳簿及び証拠書類を市の求めに応じていつでも閲覧に供することができるよう保存しておくこと。
- (4) 本委託業務は、令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（令和6年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト））を活用して実施することから、同補助金交付要綱等に基づき適正に処理すること。
- (5) 本仕様書に記載のない事項又は疑義が生じた場合は、本市と十分に協議すること。